

講習会のお知らせ

演題

増え続ける口腔がんの死亡者を減らすために
一般臨床医のできること

講師 石岡第一病院 口腔外科 萩原 敏之 先生

抄録

御存知のように日本は今超高齢社会の時代に突入しました。日本の医療はおのずと高齢者を対象として医療に変化し、医師不足にまでなりました。そのなかで歯科医療だけが高齢者医療から取り残された感があります。

口腔癌は主に高齢者の病気で、高齢化に伴い増加傾向にあります。私は、『口腔がん検診』を通しての啓蒙活動が、高齢者が歯科診療所に足を運んでくれる動機につながると考えています。胃癌が心配で内科に行く、という事と同じです。歯科医療者側からみれば、粘膜疾患に絶えず気を配る診療が身につき、診療内容に幅がでます。今回の講習会では、どのような口腔粘膜疾患を専門医の診断にゆだねるか、ということを中心にお話できればと思います。

臨床医一人ひとりが口腔がん撲滅のために行動を起こすことが、これからの歯科医療を変え、ひいては国民の健康向上につながると信じています。

日時 平成24年7月24日（火曜日） 牛久生涯学習センター小講座室にて
7時より8時半終了予定 牛久市柏田町1606-1 tel 029-874-3111

当日は研修カードをご持参ください。

講師略歴

- 1983年 岩手医科大学歯学部卒業
- 1989年 筑波大学大学院医学研究科修了（医学博士）
- 1990年 水戸済生会総合病院歯科口腔外科部長
- 1991年 筑波大学臨床医学系講師
- 1994-1995年 米国テキサス州ベイラー大学歯学部顎顔面外科学研究員
- 1999年 小美玉市国保中央病院歯科口腔外科医長
- 2008年 公益社団法人地域医療振興協会石岡第一病院口腔外科部長
- 2012年 茨城県立中央病院、茨城県地域がんセンター非常勤医
（社）日本口腔外科学会認定専門医・指導医
（社）日本がん治療認定医機構暫定教育医（歯科口腔外科）